

# 第 11 回定例教育委員会 会議録

開催月日 令和5年11月15日（水）

開催時間 午後 3 時 30 分から午後 4 時 20 分まで

開催場所 教育委員会室

出席委員 教育長 降 籬 友 宏  
教育長職務代理者 小 澤 幸 子  
教育長職務代理者 松 坂 浩 志  
委 員 長 澤 重 俊 橋 本 幸 子 梶 浦 陽

出席職員 教 育 監 市 川 敏 也 総 務 課  
教 育 監 初 鹿 野 仁 一 総 括 課 長 補 佐 齊 藤 七 二  
次長（総務課長） 小 林 洋 一 課 長 補 佐 河 野 敏 三  
教育企画室長 岩 出 修 司 主 査 事 小 池 涼 子  
福利給与課長 永 井 研 一 主 中 野 友 嗣  
学校施設課長 白 須 慎 一 教 育 企 画 室 三 枝 徹  
義務教育課長 小 池 孝 二 室 長 補 佐 野 淳 一  
高校教育課長 萱 沼 恵 光 主 幹 渡 邊 政 司  
特別支援教育・児童生徒支援課長 鷹 野 美 香 副 主 査 塩 沢 和 明  
生涯学習課長 平 賀 貴 久 子 高 校 教 育 課 金 丸 学  
保健体育課長 山 田 村 芳 樹 人 事 管 理 主 事 古 屋 雅 仁  
企画調整主幹 中 伊 藤 隆 宏 主 幹 ・ 管 理 主 事 山 下 修 平  
働き方改革推進監 伊 藤 宏 紀 福 利 給 与 課 課 長 補 佐 任

傍 聴 人 0 名

報 道 2 名

会 議 要 旨

## 〔 教育長開会宣言 〕

議案第24号から第26号「県議会に提出する予定案件について」は、今後、知事又は議会など関係機関との協議等を必要とする事項であり、また報告事項9「令和6年度採用山梨県立学校実習助手・寄宿舎指導員選考検査結果について」は、個人情報に関する案件である旨の発言が教育長からあり、出席委員全員が了承のうえ非公開とした。

## 1 議 案

第 22 号 令和4年度教育委員会の活動状況報告書（確定版）について  
〔説明〕 教育企画室

松 坂 委 員

今回最終の評価ということで、前回からずっと評価を見てきましたが、なかなか○にならないところはコロナの関係もあったりと思います。ただ、○×△だけで評価されることがないよう、ぜひ現場の取り組みを捉えてもらいたいです。もちろん評価が○のほうが良いのだと思いますが、コロナなど大きな変化の中で取り組んできた内容であり、評価項目が非常に多岐にわたっているということもあるので、現場での取り組みを評価していただければと思います。そして、次に作る計画に対しては評価方法など新たに もっと工夫して捉えてもらえるような方向付けにしてもらいたいです。

長澤委員 さきほどの勉強会でも少し言わせていただきましたが、今度新しくいろいろ指標を工夫していただいているということで大変ありがたいと思っています。ただ、この仕組みで言うならば、やっぱり〇×になってしまうとどうしても何勝何敗みたいな話になってしまうので、そうではなくて、大事な指標における×だったら、その×がなぜ×だったのか、×の中にもしかしたらいい取り組みもあったかもしれないし、原因を確認するなどその辺までやって、なるべく現場の人たちにも意味のある〇×という形でフィードバックされたらやる価値があるのではないかなという気がします。

【原案どおり決定】

第 23 号 「山梨県教育振興基本計画」の目標となる指標（未公表分）の進捗状況について  
〔説明〕 教育企画室

小澤委員 いじめの問題については安易に解決に導かないということ、また件数が増えた割に解決もがんばっていて、地道な努力が実を結んでいるけれども〇にはならなかったというところの説明をこれまでも繰り返し聞いており、ここでもしっかり書かれているということで評価したいと思います。  
ICTのところも全部〇になって本当によかったと思います。これも地道な取り組みが実を結んだのかなと思います。ここは、もしかして〇にならないかなとちょっと予想していたのですが、全部〇になって本当によかったと思います。お疲れさまでした。

橋本委員 いじめのところの解消率が99%というのは、もうこの数字の上ではほとんど解消されているというふうに思いますが、小学校でも低中高学年、それから中学校とか、いじめの内容自体や件数もかなり違いがあるのではないかなと思います。おそらく少人数学級を取り入れたことにより、早期発見や早期解決につながったのではないかなと思いますが、特に学年による件数の違いとかあったら教えていただけますか。学年というか、低中高ぐらいのでもいいです。

鷹野課長 最近は小学校低学年のいじめの件数が顕著に増えているところがあります。軽微なものを見逃さずに、その場できちんと解決まで導くというケースが増えているようです。

橋本委員 やっぱり早期発見があつてそれが解決に結びついているということですね。低学年での解消というのがすごく大事だと思うので、ぜひ今後も取り組みを進めていただければと思います。

松坂委員 私もこのいじめ、不登校への対応というのは非常にいい対応がされているなどと思っています。これ×なんですけどもパーセントは関係なく、その対応への取り組み自体をぜひ積極的に評価してもらいたいと思います。解決が100%になるというのが一番本当は望ましいのかもしれませんが、日頃話を伺っている中でその取り組みは非常によくできているのではないかなと思っています。  
また、生徒指導の充実のところについては両方とも共に×ということなんですけど、これは今後は全然違う取り組みをやらないと〇にもっていくのは難しいということはこの結果から認識していただいて、次回に向けての対応をしっかりと考えていく必要があると思いますのでよろしくお願いします。

橋本委員 相談のところ、3割、4割の方が全く相談をしなかったという結果ですが、これはコロナという理由があるとは思いますが、相談ができていく状況もあるのではないかなと思います。学校と家庭、そして周りにいる人たちに参加していただきながら、相談体制について周知をするなど、相談できていく状況がなくなっていけばいいかなと思います。

松坂委員 ICTのところですが、第1段階の目標としてはたぶん良かったと思います。ただ、ICTはDXなど今後さらに進んでくると思うので、それを活用したり、その技量をもっと上げていくと考えると、もう少し高い目標値にしてICTの更なる活用について内容を深めていく必要があると思います。

教育長 ありがとうございます。  
コロナが始まる前、一人一台端末はおろか、各学校に大型掲示装置すら不十分だった環境でした。平成29年度の基準値にあるように児童生徒のICT活用を指導する教員割合がなかなか伸びなかった中、このコロナの3年間で普及したICT環境を生かす取り組みを学校現場の先生方が一生懸命やっていた点には評価していただくべきところだと思っています。  
一方で、それで満足してはならないというのはおっしゃるとおりで、今やICT活用を指導する能力というところに加えて、ICTを普段使いできているのかという段階にきています。この点については週3回以上授業で使っているかという1つのアンケート項目があるのですが、現在は約7割の回答であり、先生方の中には普段使いまでにはまだ至っていないというデータもあります。またICTの活用の質も変わってきていますので、この質を高めながら、いかに日常の普段使いにしていくかということが大事だと思います。子供たちにとってもまた先生方にとっても、端末というもの、ICTというものが普段の文房具のように使われていき、その先に我々が目指すべき新しい教育の手法が広がっていくものだと考えております。

長澤委員 確かにコロナ前からはICTなど世の中の常識や環境が一変しましたからね。

教育長 蛇足ですが、私が文科省でICT環境整備に携わっていた時、3人に1台の割合で端末を財政要求をしましたが、なかなか厳しく非常に苦労したことがありました。そこから考えると、コロナのおかげという言い方は適切ではないかもしれませんが、社会変革によりICT環境が進んだのは間違いないありません。

**【原案どおり決定】**

第24号 県議会に提出する予定案件について

〔説明〕 総務課

(非公開：会議の要旨)

県議会に提出する予定案件について、令和5年度12月補正予算の概要の説明を受け、全委員の賛同により原案どおり決定された。

**【原案どおり決定】**

第25号 県議会に提出する予定案件について

〔説明〕 福利給与課

(非公開：会議の要旨)

県議会に提出する予定案件について、条例改正の説明を受け、全委員の賛同により原案どおり決定された。

**【原案どおり決定】**

第26号 県議会に提出する予定案件について

〔説明〕 福利給与課

(非公開：会議の要旨)

県議会に提出する予定案件について、条例改正の説明を受け、全委員の賛同により原案どおり決定された。

**【原案どおり決定】**

2 報告事項

(9) 令和6年度採用山梨県立学校実習助手・寄宿舎指導員選考検査結果について

[説明] 高校教育課

(非公開：会議の要旨)

選考検査結果について、選考内容、結果の概要の説明を受け、全委員により了知された。

【 了 知 】

3 その他報告 な し

[ 教育長閉会宣言 ]

以 上